

第27回市民スポーツフェスティバル

山科区は総合3位！

11月3日、西京極総合運動公園で第27回市民スポーツフェスティバルが開催され、山科区からは各種大会に30チーム、約200人が出場しました。

当日のグラウンド・ゴルフ大会において、山科が1位、2位、7位に入賞したことや、8月実施のバレーボール祭において出場した4チームがすべて優秀賞を獲得したことにより、第10回大会以来、17年ぶりに総合第3位に輝きました。

- 種目別成績(入賞以上)
- ①グラウンド・ゴルフ 1位：大宅



市チャンピオン大会(女子バレーボール)

11月15日、ハンナアリーナリーナで開催された同大会に、山科区からは9月に開催した「山科区民チャンピオン大会」で優勝した山階南チームが2年ぶりに出場しました。同チームは、各区分を代表した並居る強豪チームを怒涛の勢いで抑え、決勝戦では本能チーム(中京)とのシーソーゲームを粘りて制し、見事、2度目となるチャンピオン



- の栄冠をつかみ取りました。
- 問い合わせ先/区まちづくり推進担当 (☎592-30080)

第25回山科区民ニュースポーツ祭

11月9日、第25回山科区民ニュースポーツ祭が開催されました。グラウンド・ゴルフ大会は、雨のため中止となりましたが、ソフトバレーボール大会は、白熱した試合が展開され、山階南体振チームが優勝、準優勝という快挙を成し遂げました。

- 成績
- 優勝：山階南A
- 準優勝：山階南B
- 3位：山階B、百々B



- 優秀賞：鏡山A、音羽A、大宅A
- 問い合わせ先/区まちづくり推進担当 (☎592-30080)

きょうと地域力アップ 貢献事業者等表彰

区内から3団体が表彰

11月15日、「きょうと地域力アップおうえんフェア」において、地域コミュニティ活性化への取組に貢献している区内の次の団体が表彰されました。

- センチュリー21タナカヤ 賃貸マンション建設の際、入居者に対して、町内会加入に向けた説明会の開催等を実施。
- 京都橋大学人間発達学部児童教育学会けんKids★応援隊 地域の地蔵盆や夏祭りに積極的に参画し、地域住民と交流しながら、地域のつながりを生み出すことに尽力。
- 京都薬科大学 学生実習支援センター 区内小学生を対象とした理科実験講座など、地域の大人と子どもがともに交流・体験ができる取組を実施。



- 問い合わせ先/区まちづくり推進担当 (☎592-30080)

地域団体とNPO法人が連携して行うまちづくり活動への寄附を募集しています

市では、(公財)京都地域創造基金と協働で地域団体とNPO法人が連携して地域課題の解決に取り組む活動に対し、市民の皆様から寄附を募り、寄附額と同額を市から補助する支援制度を実施しています。

山科区では次の事業が採択されました。区民の皆様からの寄附を通じた応援をお待ちしております。



- 事業名/いじめ撲滅ミュージカルの上演
- 実施団体/【NPO法人】発起塾
- 地域団体/大宅小学校運営協議会
- 事業概要/ミュージカル集団の同法人が同協議会と連携し、「いじめ問題をミュージカル仕立ての分かりやすい演劇の形で小学生に紹介し、いじめ根絶を目指します。」
- 問い合わせ先/市地域自治推進室市民活動支援担当 (☎222-4072)

寄附方法・事業の詳細は…

フグ・カキによる食中毒に注意!

毎年この時期、自分で釣ったフグを素人が調理することによる食中毒事件が、全国的に発生しています。

フグは種類により、卵巣や肝臓以外にも、猛毒のテトロドトキシンが含まれていることがあります。食用できるフグの種類や食用部位の判断は、フグ処理師等の専門家に任せ、釣ったフグを素人判断で絶対に食べないようにしましょう。

また、カキをはじめとする二枚貝には、食中毒の原因となるノロウイルスが蓄積されていることがあります。ノロウイルスは少量でも体内に入ると下痢、嘔吐等の食中毒症状を引き起こすことが知られています。

生食用として販売されているもの以外は、必ず十分な加熱(中心温度85~90℃で90秒以上)をして食べましょう。

- 問い合わせ先/区保健センター衛生課 (☎592-3489)

第37回 みんなで「第2期山科区基本計画」に取り組みよう! 区民活動きずなリレー

いつだって、おかしなプロジェクト



汚れたり、破れたり、着られなくなった古い体操服を、新しい体操服に生まれ変わらせるプロジェクトが進んでいるのをご存知ですか? 回収した体操服が新しい体操服に生まれ変わるという循環を、半永久的に続けることができる画期的なプロジェクトです。山科では3年前から、13ある小学校全てで取り組まれています。

プロジェクトメンバーの岡部さんにお話を伺いました。写真家である岡部さんは、仕事の現場での廃棄物の多さから環境問題に課題意識を持ち、廃材でピンホールカメラを作る活動をしていました。ある時、京都市内の小学校で環境をテーマに授業をしたところ、岡部さんが着ていた服がリサイクルできる繊維を使ったものだったことに子どもたちが興味を持ち、「私もリサイクルできる服を着たい」と言われたそうです。とはいえず、子どもたちが自分で服を買うのはもう少し先。「それまで地球は待っていてくれる」と素直な疑問をぶつけられ、困ってしまったとのこと。

そこで、小学生に可能なことは何かと考えて、体操服をリサイクルするプロジェクトを始めたそうです。しかし、体操服メーカーからは学校にも保護者にもエコは受け入れられないと難色を示され、学校の先生には仕組みをなかなか理解してもらえないなど、実現には時間がかかったそうです。

山科の各小学校では、子どもたちがこのリサイクルについて勉強しています。現在は体操服にリサイクルであることを示すマークとキャッチフレーズを組み合わせたデザインを検討中で、山科の全小学生による人気投票で決めるそうです。

身近な体操服によって、物を大切にすることを学んだ山科の子どもたち。成長して大人になるのが楽しみです。 (京都市まちづくりアドバイザー 佐藤友二)



- 問い合わせ先/区総務・防災担当 (☎592-3066)

生活安全スポットニュース

要警戒 自転車盗難・振り込め詐欺

【自転車盗難防止の3箇条】

- ～自転車にも愛錠を～
- ①駐車時は、短い時間でも必ず施錠
- ②ワイヤーロックなどを使い、2重に施錠
- ③路上に駐車せず、駐輪場等定められた場所に駐車

【振り込め詐欺の主な誘い文句】

- ～その電話全て詐欺です～
- ①名義を貸してくれ
- ②ゆうパックで現金を送ってくれ
- ③還付金があるのでATMに行ってくれ
- ◎振り込む前にまず相談!
- 問い合わせ先/山科警察署 (☎575-0110)